

平成29年度 平取ダム工程コスト検討委員会の
審議結果について

国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部では、沙流川総合開発事業（平取ダム）において、適切な事業執行及び総合的なコスト縮減策について専門家等の第三者からの意見・助言を頂くため「平取ダム工程コスト検討委員会」を下記のとおり開催しました。

1. 日 時 : 平成 30 年 3 月 16 日 (金) 13:30~14:25
2. 場 所 : 室蘭開発建設部二風谷ダム管理所 1F 会議室
3. 委 員 : 鈴木 克典 北星学園大学経済学部経営情報学科教授
◎藤間 聡 室蘭工業大学名誉教授
山下 弘市 元北海道土木技術会コンクリート研究委員会委員
◎委員長(※50音順)

4. 審議結果

○審議内容

- (1)事業の進捗状況
- (2)平成29年度工事内容
- (3)コスト縮減への取り組み

【前回の意見に対する取組状況】

- ・昨年度と同様に敷鉄板の転用を行い、コスト縮減に努めた。
- ・受注者とは工事の進捗や課題解決について協議を行う会議を定期的で開催している。H29年度においては、仮設工に関する費用のコスト縮減に努めた。
- ・昨年度と同様に廃棄岩を有効活用し、コスト縮減に努めた。

【今年度以降のコスト縮減】

- ・仮設工(作業床)の見直し
- ・堤体材料の廃棄岩の有効活用について
- ・工事間のクレーン共用
- ・管理用階段の見直し
- ・ダムコンにおける汎用品の見直し

○主な意見

- ・受注者との協議を通し、現場の声や知恵を拾い上げ、コスト縮減に努めているのが伺える。今後も工事が続くと思うが引き続き努力してもらいたい。
- ・プリンターや什器なども汎用品を使用し、据付方法を工夫するなど、少しでもコスト縮減に努めてもらいたい。
- ・ダムができることで、下流の貫気別住民の安心安全が確保される。二風谷ダムとも連携し、被災を小さくできるように、性能の良いダムを造ってもらいたい。